

情報通信業は、他の業種に比較して、週の労働時間が60時間以上の雇用者の割合が高い産業です。情報サービス業における長時間労働の抑制と年次有給休暇取得促進を阻害する要因には、情報サービス業特有の課題も多く、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けては、身近なことから業務改善を行い、仕組みや制度として対応し、トップマネジメントで目標を決めて発信することが重要です。

### 長時間労働の抑制と年次有給休暇取得促進を阻害する要因

(事業場からのヒアリング調査で浮かび上がった課題)

- 部下の仕事の把握不足
- 仕様変更、厳しい納期、限られた予算等の顧客事情
- 見積もり、人の割当て、品質管理の失敗など受注側の事情
- 多重下請構造による業務のしわ寄せ
- 優秀な人材や管理職における業務の偏在
- 仕様変更等予見される業務量に対して十分な人員体制を織り込んでいない開発計画

情報サービス業  
特有の課題も  
あります

ポイント ①

身近なことから業務改善

ポイント ②

仕組みや制度として対応

ポイント ③

トップマネジメントで  
目標を決めて発信

ワーク・ライフ・バランスの実現にチャレンジ!

#### ■情報通信業の週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合と年次有給休暇取得率

コラム



##### 週 60 時間以上の雇用者の割合

情報通信業 10.6%      全産業 8.8%

出所：「総務省労働力調査」(2013年)

##### 年次有給休暇取得率

	付与日数	取得日数	取得率
情報通信業	19.6日	10.8日	55.0%
全産業	18.3日	8.6日	47.1%

出所：厚生労働省「就業条件総合調査」(2012年)